

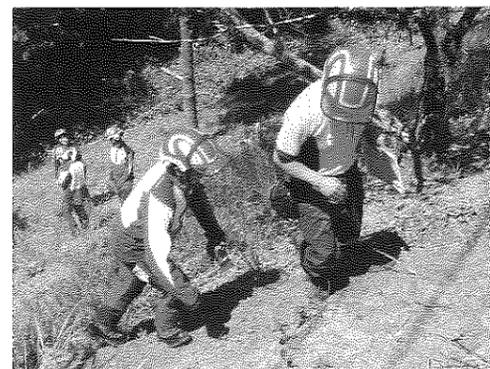
# 林大の風

第35号 高知県立林業大学校

林業大学校での指導について

本校では特に「安全装備」について徹底しており、イヤーマフとバイザーのついたヘルメット、チェンソーウェア、防護ズボン、チェンソーブーツ、防振手袋を全員に装着させています。チェンソーブーツは重く、履き慣れていないと疲労してしまうため、斜面での歩行練習、普段の実習で着用することで慣れさせています。地下足袋でない山で働けないという意見もありますが、本校OBも卒業後引き続き装備しており、若い世代から安全装備への意識が広まることを期待しています。

基礎課程に入校した研修生は、5月～6月にかけて安全かつ基礎的なチェンソーの扱い方を習得してもらいます。平場での模擬木による繰り返し練習が非常に多く、実際に山で木を伐るまでに多くの時



間を場内での反復練習に費やしています。基本的な水平切り、斜め切りから始まり、受け口、追い口切りまでを水平な平場でを行います。

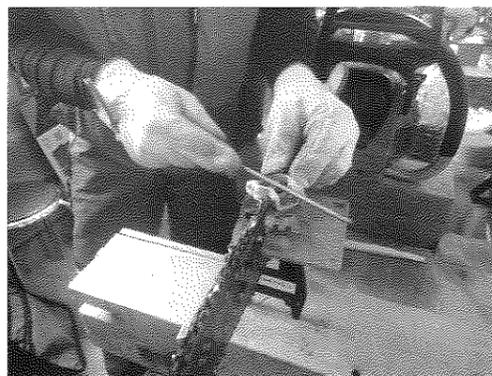
その後、実際の現場に条件を近づけるために15～35度の傾斜台に丸太を設置し、同様に練習します。全ての項目に数値基準を設けており、結果に納得がいかない研修生は熱心に居残り練習をしています。最後には安全確認、受け口、追い口の出来を点数化するテストを行い、自分の技術のレベルを確認しています。



他には、造材を意識した合わせ切り、枝払いの練習も行っています。木材の重心を見極め、切断面の上下切り合わせ、枝払いの深さは、何度も経験することで体で覚えるよう指導しています。

チェンソーの使い方だけではなく、日々の点検目立てについての授業も行っています。目立てには、目立てゲージを使用して丁寧に刃を研ぎます。チェンソーは一人一台貸し出しており、1年間自分の道具は責任をもって管理するように徹底しています。

これから夏場にかけて下刈り、重機での森林作業道開設等を予定しており、覚えることがどんどん増えていきますが、研修生たちは一つ一つ丁寧に技術を身につけていきます。



インターンシップを受け入れてくださる事業体の皆様にとつては、研修生の作業動作が遅く思われるかもしれませんが、研修生たちもこれまで学んだ技術を活かすため、そして少しでも受け入れ先の役に立ちたいといった思いで一つ一つ確認し作業に臨んでおりますので、今年度も温かい目で受け入れていただければ幸いです。

# OPEN CAMPUS

2023 8.5日

【午前の部】 9:30-12:00  
【午後の部】 14:00-16:30  
各回定員 50名

CLTを活用した木造校舎を見学できます!

現場で使用される林業機械で本格的な実演

木造建築模型作りの体験もできます!

校長は世界的建築家 隈研吾氏!

Time Schedule		エブリデイ 要予約 オープンキャンパス	
午前部	9:00-9:30 受付 9:30-10:15 学校説明 10:15-11:00 研修・施設見学 11:00-12:00 個別相談(自由参加)	午後部	13:30-14:00 受付 14:00-14:45 学校説明 14:45-15:30 研修・施設見学 15:30-16:30 個別相談(自由参加)

オープンキャンパス以外でもあらかじめご連絡いただくと見学・説明OK!